

事故の型別にみた車両系荷役運搬機械等による主な死亡災害事例

(平成21年発生分)

■フォークリフト

01. 墜落・転落

番号	局名	業種	発生日	年齢区分	災害の発生概要
1	茨城	商業	12月	50～59歳	被災者は、倉庫内でフォークリフト（最大荷重1.1t）のパレットの上に乗り、商品を棚から取り出す作業を行っていた。パレットの高さを約2.5m上げた状態のまま、通路を後退しながら移動していたところ、パレット上の被災者の頭部が天井のシャッター部分に当たり、その反動で被災者は地面に墜落した。
2	新潟	製造業	12月	50～59歳	出荷口ホームにおいて、フォークリフト（リーチタイプ 最大荷重1t）を使用し、パレットで2段積みされた荷のうち、上部の1パレットを降ろすため、フォークに積んでバックしたところ、そのまま出荷口ホームからフォークリフトごと落下し、投げ出された被災者は落下したフォークリフトのヘッドガードと路面に挟まれた。
3	三重	製造業	11月	60歳以上	製品出荷のプラットホームにおいて各配達先毎に荷物を仕分ける作業中、次の製品を取りに行くためフォークリフトをバック運転し、方向転換するためプラットホームの端に向かって切換えした時、プラットホームからフォークリフトとともに高さ1m下の地面に転落し、フォークリフトの下敷きになった。
4	静岡	製造業	8月	50～59歳	被災者がフォークリフトのパレットの上ののって、抽出室の天井付近の冷風の出るフレキシブルホースの補修作業をしていた。フォークリフトのレバー操作をした労働者は、補修に使うガムテープを取りに行くためその場を離れたが、クラクションの音を聞いたので戻ったところ、被災者が抽出室から出てきて倒れるところを目撃した。発見時フォークは上昇し、マストは運転席側に傾斜していた。
5	兵庫	その他	7月	20～29歳	当該事業場において、最大積載荷重2tのフォークリフトを運転していたところ、敷地に隣接する河川敷へ転落し、フォークリフトの下敷きになった。
6	熊本	製造業	5月	60歳以上	被災者は、班長と2人でフォークリフトを使用し、倉庫のシャッター上部（高さ約4m）に取り付けてある罫取り紙を取り外す作業を行っていた。班長がフォークリフトを運転し、フォークリフトのフォークにプラスチック製の箱を載せ、その箱に被災者を乗せた状態でフォークを上げたところ、被災者がバランスを崩し、乗っていた箱とともに約1.7m墜落した。
7	和歌山	その他	5月	60歳以上	被災者は、工場出入口のシャッターボックス上部の鳩の巣を確認のため、フォークリフトに挿入したパレット上に搭乗し、付近までリフトアップしてもらった。そこから、被覆電線に左足を掛け覗き込もうとしたところ、たるみ防止用に止めていたクリップが外れ、バランスを崩し約4m下の床上に転落した。

■フォークリフト

02. 転倒

番号	局名	業種	発生日	年齢区分	災害の発生概要
1	山梨	陸上貨物運送事業	10月	40～49歳	飼料運搬車のタンクに飼料を投入する作業中、運転していたフォークリフトが横転し、運転席から投げ出され、フォークリフトの下敷きとなった。
2	岡山	陸上貨物運送事業	8月	60歳以上	最大荷重3.5tのフォークリフトを運転し、フレコンバッグに入れたゴミを搬送した被災者が、構内の道路上（道幅約6m、傾斜約6度）で方向転換のためにバックしたところ、フォークリフトの右側後輪が路肩に乗り上げるとともに、カウンターウエイトが路肩にぶつかってフォークリフトが転倒し、運転席から放出された被災者はヘッドガード部分の下敷きとなった。
3	長崎	陸上貨物運送事業	7月	30～39歳	被災事業場のトラックにて運搬してきたペットボトル・ボール（プレス品、重量約400kg）を、客先のフォークリフト（クランプ式）を運転して荷下ろしの作業中、荷を積載し、マストを上げ、前進、右旋回操作中に左側に転倒した。運転者はフォークリフトヘッドガードフレームと地面との間に挟まれた。
4	岡山	建設業	7月	50～59歳	被災者が工事現場で使用するセメントを置いている資材置場までフォークリフトで取りに行き、当該工事現場に戻っている途中にフォークリフトが横転し下敷きになった。なお、資材置場から当該工事現場までの道路は下っており、また、横転した箇所は下りの緩やかなカーブで勾配は8度であった。
5	大分	その他	1月	20歳未満	畜産施設の敷地内のアスファルトにより舗装され、勾配約4度で、積雪により埋もれた状態となっているスロープにおいて路肩から脱輪し、転倒している最大荷重2.38tのフォークリフトのヘッドガードと地面との間にはさまった状態で倒れている被災者が発見された。

■ フォークリフト

03. 飛来・落下

番号	局名	業種	発生日	年齢区分	災害の発生概要
1	新潟	製造業	4月	20～29歳	被災者は、当該ラインの運転補助業務に従事していた。原料を補充するため、フォークリフトでフレコン（重量1t）をつり上げて運搬、投入ホッパー上部に吊り下げた状態でフォークリフトを停車、フレコンの底部を開放すべく底の結びひもを解く際、フレコンが落下して上半身を挟まれているところを発見された。
2	滋賀	製造業	4月	40～49歳	被災労働者は、フォークリフト（機体重量10t、最大荷重3t）のフォーク（フォークの代わりにマニピュレーターが取り付けられている）を上下する油圧系統のパイプから油漏れしているため、単独で当該パイプの交換作業を始めたが、フォークを上にあげ、被災労働者はその下で作業をおこない当該パイプを取り外したことから、圧力が抜けてフォークが落下し、被災労働者はその下敷きになった。
3	滋賀	製造業	1月	50～59歳	フォークリフト運転者がフォークリフトをバックさせて加工場から荷受場に製品を運搬していたところ、鋼管置場の4段積み鋼管の束（長さ4m、高さ約1.7m）の上に仮置していた別の鋼管の束（長さ約5.5m、重さ約600kg）に、運搬中の製品が接触して、仮置していた鋼管の束が落下し、空パレットを歩いて取りに行く途中でフォークリフトが通り過ぎるのを鋼管置場の付近で待機していた被災者に激突した。

■ フォークリフト

04. 激突され

番号	局名	業種	発生日	年齢区分	災害の発生概要
1	静岡	製造業	11月	50～59歳	被災者は、自転車で構内道路（幅員9.7m）を走行していたところ、最大荷重3.5tフォークリフトで紙製造用パルプを積載し前進の状態でのフォークリフトに後方から追突され、横転して荷と路面との間に挟まれた状態で引きずられた。
2	大阪	その他	8月	60歳以上	フォークリフト（最大荷重7t、コンテナ用アタッチメント付）の運転者に連絡事項を伝えるため、作業中のフォークリフトに近づいた被災者が、後進してきたフォークリフトに轢かれた。
3	大阪	陸上貨物運送事業	4月	60歳以上	被災者は、工場構内を歩行中、構内で空のパレットを搬送していたフォークリフトに激突された。
4	千葉	建設業	3月	60歳以上	トラッククレーンを用いて電柱の積み込み作業中、作業場内で変圧器の運搬を行っていたフォークリフトと激突した。
5	岩手	製造業	1月	50～59歳	機械の清掃作業にあたり、清掃開始前の打ち合わせに向かった際、後進してきたフォークリフトに接触した。

■ フォークリフト

05. 挟まれ、巻込まれ

番号	局名	業種	発生日	年齢区分	災害の発生概要
1	京都	製造業	11月	60歳以上	工場内においてフォークリフトを使用して合板材の積上げ作業を行っていた被災者が、当該フォークリフトの「マスト」と「ヘッドガードの支柱」に挟まれた状態で発見された。
2	静岡	製造業	10月	50～59歳	被災者は輪転印刷機用の巻取用紙を運搬中、工場入口のシャッターの前に降ろした2本の巻取用紙が動いたため、フォークリフトを降りて巻取用紙を止めようとしたが、サイドブレーキを引かず、エンジンを切らずに降りたため、前進してきたフォークリフトとシャッター棒支柱との間に挟まれたもの。当該フォークリフトはマニュアルトランスミッションで、ギアはローギアに入っていた。
3	神奈川	港湾荷役業	10月	30～39歳	事故現場に出張し、最大荷重2.5tフォークリフトの年次点検及び修理作業をしていた被災者が、点検中のフォークリフトのマストとヘッドガードのサイドフレームに挟まれているところを発見された。
4	福岡	製造業	8月	60歳以上	整備・修理のために工場に持ち込まれた変成器（電力供給にかかる機器）を、フォークリフト運転者が工場ヤード内に移動させて並べ、被災者がパレットに乗っている変成器のボルトの取り外し作業を行っていた。運転者が後進した際、被災者を轢いた。
5	山口	製造業	6月	50～59歳	営業所内において、バッテリー式電動フォークリフトの修理作業を被災者一人で行った。被災者がキャビネットの上に乗る、マストからシリンダーを外す作業を行っていた時、被災者の足がチルトレバーに接触したため、マストが後傾し、マストとヘッドガードの間に挟まれた。
6	熊本	製造業	4月	40～49歳	被災者は冷鍛プレス前に、フォークリフトを停車させ、フォークに挿して2.1mまで上昇させた手すり付きの鋼製パレット上で、同プレスの油圧ホースの補修作業を行っていた。 フォークリフトのヘッドガードとマストの梁の間に挟まれている状態の被災者が発見された。

■フォークリフト

05. 挟まれ、巻込まれ

番号	局名	業種	発生日	年齢区分	災害の発生概要
7	神奈川	建設業	4月	40～49歳	フォークリフトでプレス機械を搬送しようとしているとき（同プレス機械上部とフォークリフトをワイヤーで緊結していた。）に、前進したフォークリフトと同プレス機械の間に挟まれた。
8	山梨	製造業	3月	50～59歳	被災者はフォークリフトのバケット（370kg）の下に入って油圧パイプの修理作業を一人で行っていたところ、バケットが不意に下降し、バケットと油圧ジャッキのシャフトの間に頭部を挟まれた。

■フォークリフト

06. 交通事故

番号	局名	業種	発生日	年齢区分	災害の発生概要
1	福井	陸上貨物 運送事業	1月	60歳以上	河川敷にある工場敷地内で被災者がフォークリフトを運転して製品をトラック荷台に積み込み、フォークリフトを工場建屋に収納する際に、フォークリフトに乗車したまま誤って工場敷地から河川敷の公道を横断して路肩から川に転落した。

■不整地運搬車

01. 墜落・転落

番号	局名	業種	発生日	年齢区分	災害の発生概要
1	鹿児島	建設業	12月	60歳以上	不整地運搬車（最大積載荷重2.5t）で土砂（運搬していた土砂は1t未満）の運搬作業を行っていた被災者が見あたらないので同僚が捜していた。運行経路から2.6m下の田んぼで不整地運搬車の下敷きになっている被災者を発見した。なお、転落した不整地運搬車には土砂が積載されていた。
2	北海道	建設業	11月	50～59歳	道路の災害防除工事現場において、被災者は不整地運搬車（最大積載荷重8t）を運転し、残土を現場脇の仮置場に運搬する作業に従事していた。 不整地運搬車に残土を載せ、盛土部分の登坂路（最大勾配13度）を後退していたところ、高さ約5.4mの路肩から転落（転落箇所の勾配は50度）、後方に落下、横転したため、被災者は運転室から放り出された。
3	新潟	建設業	10月	50～59歳	地震災害復旧工事に係る土留設置工事に伴う掘削作業において、掘削した土の搬出をするため、被災者は最大積載荷重4tの不整地運搬車で土積込場に行き、所定の位置で待機していた。ドラグ・ショベルで土を不整地運搬車荷台に入れる直前に、被災者が停止位置の修正をするため不整地運搬車の操作をしたところ、クローラの向きが斜面方向に動き、そのまま不整地運搬車とともに約30m転落した。
4	宮崎	林業	1月	60歳以上	被災者は、木材伐出作業現場において、杉玉切り材を積載した不整地運搬車（最大積載荷重3.5t）を運転し、伐採箇所から土場へ約800mの作業路を下っていた。伐採箇所から約730m下った作業路（作業路の縦断勾配14度、横断勾配6度、幅3.45m、ほぼ直線）において、不整地運搬車が路肩から約20m斜面を転落し、被災者はその際、不整地運搬車あるいは散乱した杉玉切り材の下敷きになった。

■不整地運搬車

02. 激突

番号	局名	業種	発生日	年齢区分	災害の発生概要
79	奈良	建設業	12月	60歳以上	深さ166cmの農業用水路を不整地運搬車を運転した後進していたところ、水路底面より142cmの位置に水路を跨ぎ架けられているU字溝に激突した。

■不整地運搬車

03. 挟まれ巻込まれ

番号	局名	業種	発生日	年齢区分	災害の発生概要
1	青森	建設業	10月	50～59歳	林道新設工事現場において、被災者が玉石を入れる籠に敷くシートを切断する作業を幅5mの道路脇で行っていたところ、後進してきた不整地運搬車の右クローラに轢かれた。
2	静岡	建設業	1月	60歳以上	公園整備工事現場において森林内に遊歩道を造成中、不整地運搬車にて土砂を造成場所に運搬し、敷きならした後、被災者が不整地運搬車を操作しながら後退中に、後方に土砂の積み込み用に停めてあった小型ドラグ・ショベルのバケット（地上1.4m付近の空中に停めてあった）と不整地運搬車の運転席の手すり等に挟まれた。